

捨てる前に確かめて!!

小型充電式電池は火災の原因

廃棄された小型充電式電池や同電池を使用した製品が、ごみ収集車や処理施設で出火し、火災が発生しています。家庭から排出された小型充電式電池などは、燃やさないごみと一緒に出すにそれぞれの回収ボックスや拠点回収を利用してください。問い合わせは市環境フリーセンター ☎782・0968へ。

小型充電式電池による出火事故が発生

燃やさないごみの中にまぎれ込み廃棄された小型充電式電池(リチウムイオン電池、モバイルバッテリー、ボタン電池など)を使用した製品が、廃棄物の収集・運搬・破砕処理の過程で火災の原因となっています。

同電池は、中に燃えやすい液体が入っていることから、破損・変形した際に、発熱・発火する危険性があります。同電池は、携帯電話、スマートフォン、デジタルカメラ、モバイルバッテリー、加熱式たばこ、コードレスクリナーなど多くの小型家庭用電気機器に使用されています。

出火原因を特定している小型充電式電池の製品割合

品目	用途不明な充電式電池	加熱式たばこ	コードレスクリナー	モバイルバッテリー	電動アシスト自転車用バッテリー	ヘアアイロン	パソコン用バッテリー	その他
割合(%)	41.2	18.9	17.6	10.7	3.1	0.4	1.3	6.8

保存版 小型充電式電池の分別回収にご協力を

家庭から出たバッテリー本体・リチウムイオン電池を内蔵した製品は回収ボックスに入れるか、拠点回収をご利用ください



【回収ボックス設置場所】各施設の開館日、開館時間は問い合わせを
 ▷「ふらっと」人権センター(堀池2) ▷きららホール(北野4)▷市役所西出入口(千僧1)▷神津交流センター(森本1)▷南分室(御願塚3)▷くらしのプラザ(宮ノ前2)▷野間分室(野間北4)

【拠点回収場所】いずれも午前9~10時半。直接、職員に手渡ししてください

毎週火曜	毎週水曜	毎週木曜	毎週金曜
▷西野大谷公園 ▷「ふらっと」人権センター	▷きららホール ▷(旧)女性・児童センター	▷市役所駐車場入り口東側 ▷神津交流センター ▷くらしのプラザ	▷野間分室 ▷南分室

問い合わせ先 市環境フリーセンター ☎782-0968

12月に62件の火災検知や出火事故が発生しています。出火原因を特定している小型充電式電池の製品割合は左上表の通り。これまで中身の残ったスプレー缶やライターが主な出火事故の発生原因でしたが、近年は同電池を含む製品が主な出火事故の原因となつてきています。特にプラスチック製品は石油化学製品で高発熱量を持つため、出火した場合、大火災につながる恐れがあります。また、長期にわたる処理施設内の機器停止を伴うことから、回収したごみの処理ができず、私たちの生活に支障をきたす恐れがあります。

排出協力店は、(一社)JBRのホームページを確認を。また、排出協力店である「電器店の回収ボックス」も活用するなど、分別排出に協力をお願いします。



小型充電式電池が原因の出火事故

感染リスクが高まる「5つの場面」

飲酒を伴う懇親会など

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まる可能性がある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

